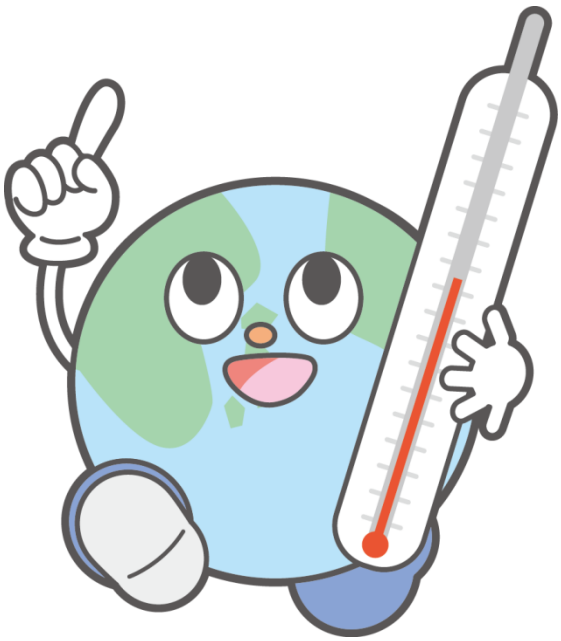
平成２９年（２０１７年）度

関西エコオフィス大賞

～受賞事業所の取組紹介～



地球クン

関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

広域環境保全局（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）

平成２９年度関西エコオフィス大賞　受賞事業所

○関西エコオフィス大賞

株式会社ＧＥ〔大阪府・堺市〕

環境クイズや家庭の不用品を事業所で使用する取組など、創意工夫された様々な活動を一元化し、「環境ラリー」として全従業員で実施している。また従業員のアイデア等を加えて毎年少しずつ変化させながら、継続して取り組んでいる。その他、教育訓練や環境活動レポートの作成など、日頃の地道な活動から他への波及まで、総合的に環境活動に取り組んでいることが評価された。

○関西エコオフィス奨励賞

堺ＬＮＧ株式会社〔大阪府・堺市〕

見える化やこまめな節電対策を継続することにより、着実に電気使用量を削減していることが評価された。コストをかけずに取組により電気使用量を削減し、その他の環境取組も着実に実施していることは、他事業所の手本となり、波及効果が期待できる。

田辺三菱製薬株式会社　本社〔大阪府・大阪市〕

先進的省エネ設備の導入や地表面および屋上の緑化により、CO_2排出量の削減を実現した点が評価された。また植樹活動の実施など地球温暖化防止に寄与するＣＳＲ活動にも積極的に取り組んでいる。

日本水産株式会社　姫路総合工場〔兵庫県・姫路市〕

エコアートやエコササイズ（エレベーターを使用しないで階段利用を促進する活動）などの活動が創意工夫されたユニークな取組として評価された。また、社内や来客等にも積極的に発信していることから、他への波及効果が期待できる。

株式会社横山サポートテック〔兵庫県・赤穂市〕

グリーンカーテンの設置にあたり、自社内で苗を作り、雨水を利用して簡単に水遣りができるようにするなど、費用と手間を抑える工夫をしている点が評価された。また、近隣幼稚園と共に活動するなど、他事業所への普及にも努めていることから、他への波及効果が期待できる。

■平成２９年度関西エコオフィス大賞

宣言オフィス名	株式会社ＧＥ	
ホームページＵＲＬ	http://www.general-ecology.co.jp/	
オフィスの概要	所　在　地	大阪府堺市西区築港新町一丁５番 38
	業種・業務内容	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・ 積替保管及び中間処理（焼却、選別・破砕、脱水、乾燥）
	従　業　員	７２名
主な取組項目	全従業員参加型で環境活動をポイント化し評価する「環境ラリー」の取組を実施し、環境活動の活性化を行っている。また、従業員が講師を務める教育訓練を実施しているほか、社内の環境活動レポートを作成するとともに施設見学者に紹介し、行政や大学のセミナーで事例発表を行っている。	

（取組の具体的内容）

大栄環境グループ独自の取組として、「環境ラリー」を実施しています。

環境ラリーとは、全従業員参加型で環境活動をポイント化し評価する取組です。「誰でも無理なく実践出来る」エコ活動を中心に設定しています。

以下の2つの大項目を設定しており、「グループ統一項目」は、5点/月以上という目標を大栄環境グループで定めています。

- No.1～No.11　：　「グループ統一項目」
- No.12～No.18　：　「事業所個別項目」

また、「グループ統一項目」／「事業所個別項目」の合計点数が上位の者には、商品券をプレゼントし、環境活動の活性化を目指しています。

※平成28年　環境ラリーチェックシート

	No	項目	備考	点数	4月	5月	6月
グループ統一項目	1	環境川柳提出（入選）	複数件提出しても1点 （優秀＋5点） （優良＋3点）	1点 （＋5点） （＋3点）	応募	入選	
	2	エコライフアイデア提出	応募1件あたり　1点	1点			
	3	買い物時にレジ袋を断る（エコバックの使用）	回数にかかわらず1点／月	1点			
	4	会社でマイ箸を使用する	回数にかかわらず1点／月	1点			
	5	会社でマイボトルを使用する ※自宅から飲料を持ってきた場合	回数にかかわらず1点／月	1点			
	6	エコキャップの提出	5個未満の提出1点／月 （5個以上の提出＋1点）	1点 （＋1点）			
	7	リフレッシュウィーク 終業より1時間以内に退社する	第3月曜の週に1h以内退社 （複数回でも）1点／月	1点			
			日付		日	日	
	8	環境クイズに答える （環境レターに掲載） GWの掲示板にアップされています。 （各部署の事務所にも掲示）	前月のクイズが正解の場合	1点	3月号	4月号	5月号
			毎月出されるクイズに回答	1点			
			答え		4月号	5月号	6月号
	9	環境教育への参加	個人で動画を視聴　1点 事務局主催の視聴会に参加　2点	1or2 点			
	10	みどりの活動への参加（花壇の手入れ）	回数にかかわらず1点／月	1点			
	11	バリューカードの提出	1枚の提出1点／月 （2枚以上の提出＋1点）	1or2 点			
グループ統一項目　合計点数記入欄（No.1～No.11までの合計点）							
事業所個別項目	12	内部コミュニケーションで発言する	回数にかかわらず1点／月	1点			
	13	エコ検定取得	取得者　3点（4月のみ） 試験を受けた人　3点 合格者　7点	3点 （7点）			
	14	家庭で出た古着を持ち寄りウエスに使用	枚数に関わらず1点／月	1点			
	15	電気の消灯	枚数に関わらず1点／月	1点			
	16	休憩室や事務所トイレを清掃する	回数にかかわらず1点／月	1点			
	17	場内飛散物の回収	1回の回収1点／月 （毎日の回収＋2点）	1点 （＋2点）			
	18	部署の活動『2015年度　残業+休出時間　1%削減』		1点			
全項目　合計点数記入欄　（No.1～No.18までの合計点）							
環境管理委員押印欄							
環境管理事務局押印欄							

※上位者へ商品券

【1位：1万円　2位：7千円　3位：5千円　4位：3千円　5位：2千円　6位～8位：千円】

項目の詳細は、下記の通りです。
【グループ統一項目】
1.環境川柳の提出
　環境川柳を募集し、入選すれば賞金を授与、また、大栄環境グループ全体の情報共有ネットワークで各パソコンに掲示され、環境意識を高めています。
　●入選作品の一例：ちょっとエコ　みんなでやれば　だいぶエコ
　　ゴミ拾い　自然にできる　思いやり
　　明かり消し　夜空の電球　ライトＯＮ

2.エコライフアイディア提出
　エコライフアイディアとは、環境に関する（省エネ・節水等）提案事項です。職場／家庭を問わずエコライフアイディアを提出してもらい、良い内容の物については、活動に取り入れています。
　●提出アイディアー例：・洗剤の使用を控える為、アクリルたわしを使用する
　　・洗濯時の節水「お任せ」→「お急ぎ」を設定
　　・ＰＣの節電　離席時間が90分以上の場合は電源を落とす

3.買い物時にレジ袋を断る（エコバックの使用）
　レジ袋使用の削減を推奨しています。

4.会社でマイ箸の使用
　割り箸の使用を控え、マイ箸を用意して使うことを推奨しています。

5.会社でマイボトルの使用
　マイボトルの使用を推奨、缶やペットボトルの排出を抑制しています。

6.エコキャップの提出
　大栄環境グループには、廃プラスチックを再資源化している事業所があります。職場や家庭で回収したエコキャップの量により再資源化商品の売り上げの一部をＪＣＶ（世界の子どもたちにワクチンを日本委員会）に寄付しています。

7.リフレッシュウィーク
　リフレッシュウィーク期間中（第３月曜の週）に終業から１時間以内に退社を推進し、省エネと従業員の心と体のリフレッシュに取り組んでいます。

8.環境クイズに回答
　毎月発行している環境レターに掲載しています。

9.環境教育への参加
　15分程度の環境動画の視聴会を開催しています。
　●視聴動画の一例：「社会のトビラ　森林と林業」、「エコマークとは」、「ＥＤＯ時代　ＥＣＯヒント」

10.みどりの活動に参加
　みどりの委員会を設置し、事業所のみどりの活動を活発化させています。
　緑の委員を中心に各部署で花を育て、出来栄えを花のコンテストで、楽しみながら競い合っています。

11.バリューカードの提出
　大栄環境グループのブランド価値を高める行動（下記に示した10項目に該当した言動）を“DINS Value”として投稿。好事例の物は、共有化しています。
　毎月、抽選で2名の提出者に賞金を渡しています。
　①安全第一　②スピード！スピード！スピード！　③気は遣うものじゃなく、利かせるもの
　④つながる、コミュニケーション　⑤平凡を非凡に努める　⑥顧客満足で満足しない
　⑦自ら考え行動する　⑧挑戦からはじまる　⑨変化するものだけが生き残る
　⑩一致結集　ＤＩＮＳファミリー

●提出バリューカードの一例：

- 常に安全に気配りし、無線で現場の指揮を取っています。段取りも良く搬入車の出入りもスムーズです。今後も安全作業をお願いいたします。
- 施設見学や廃棄物の追跡の際、サーマルリサイクル棟４F、中央操作室に上がって説明することがある。その際、いつも玄関にスリッパを並べてくれており、ありがとうございます。その後の片付けも素早くしてくれるので、施設見学が連続する場合とか、大変助かります。
- 昨日風が強く桜が散って花びらが場内に散らかっていました。朝ふと見ると、〇〇さんが誰よりも早くほうきを手に掃除をされていました。桜はきれいですが、散ってしまうとただのゴミ。それを掃除する。そういう普通のことを皆見過ごしてしまう。もっと場内のゴミを意識しようと思いました。

【事業所個別項目】

12.内部コミュニケーションで発言

月に一度、部署毎に環境をテーマにしたミーティングを実施しています。

内部コミュニケーションで出た提案や意見をエコアクション21委員会で決議し環境活動に取り入れています。

13.エコ検定の取得

エコ検定（環境社会検定）の取得を推進しています。環境意識の高い従業員の育成を目指しています。

14.家庭で出た古着を持ち寄りウエスに使用

古着を場内でウエスとして使用しています。

15.電気の消灯

無駄な電気を消灯しています。

16.休憩室や事務所、トイレの清掃

事業所内の美化を徹底しています。

17.場内飛散物の回収

事業所内の美化を徹底しています。

18.部署の活動

各部署の業務内容にそった環境活動を定め取り組んでいます。

（取組を始めた契機・経緯）

取組のきっかけは、エコアクション21活動のマンネリ化です。マンネリ化を打破するために、新たな活動を取り入れようと、大栄環境グループの三重中央開発㈱が実施していた「環境ラリー」を取り入れました。その後、大栄環境グループ全体で、目標を定め取り組むことになりました。

（効　果）

飽きないように、毎年少しずつ内容を変更させているので、取得ポイントを比較することは難しいですが、活動が定着してきて全体的にポイントが高くなっています。エコキャップの回収は、家庭でも取り組みやすいようで、年々重量が増えています。【平成27年：22.6kg　平成28年：35.5kg】

また、エコライフアイディアも様々な内容の提出が増えています。【平成27年：4件　平成28年：20件】

（他事業所への普及の可能性）

「誰でも無理なく実践出来る」エコ活動を中心に設定することで、全従業員で取り組みやすいと思います。また、副賞を用意することで、やる気を出してくれやすいですし、取組内容もそれぞれの企業の特色を活かせるので、面白いと思います。

取組内容を環境活動レポートにとりまとめ、施設見学（年間約450名）のお客様に配布し説明しております。また、行政や大学のセミナーで、エコアクション21の事例発表をさせて頂いており、水平展開を目指しています。

●事例発表

平成19年 7月	エコアクション21自治体イニシャティブ説明会	堺市
平成19年10月	エコアクション21産業廃棄物処理業者向け認証・登録制度セミナ	地域事務局大阪
平成20年 1月	環境活動発表会～企業・NGO/NPOのパートナーシップを考える～	環境省
平成20年 7月	エコアクション21自治体イニシャティブ説明会	堺市
平成22年 7月	エコアクション21自治体イニシャティブ説明会	堺市
平成24年 7月	エコアクション21自治体イニシャティブ説明会	堺市
平成25年 8月	中小企業の省エネ・節電セミナー	地域事務局大阪
平成27年 5月	Eco-CRIPを活用した持続可能な地域社会貢献に向けたセミナー	環境省
平成27年 9月	堺市・大阪府立大学連携　連続セミナー　パネルディスカッション	堺市
平成27年10月	第10回　EA21全国交流研修大会	環境省
平成27年11月	環境経営学会秋季研究報告大会	環境経営学会
平成27年11月	エコドライブセミナーにおける講演	大阪府
平成27年12月	大阪産業大学「エコビジネス論」外部講師	大阪産業大学
平成28年12月	大阪産業大学「エコビジネス論」外部講師	大阪産業大学

（取組において創意工夫した点）

全項目を大栄環境グループ全事業所が同じ項目にするのではなく、No.12～No.18の「事業所個別項目」を設けることにより、それぞれの事業所の環境活動にあった項目を取り入れています。

「事業所個別項目」は、エコアクション21事務局のみが決めるのではなく、各部署で実施している内部コミュニケーションで項目について話し合い、決定しています。興味を持ってもらうために、話し合いの場を多く設けるようにしています。

また、提出のあったエコライフアイディアをエコアクション21委員会で議論し、好事例の物は採用し活動に取り入れています。

（従業員への周知・啓発の方法）

大栄環境グループで取り組んでおり、本部が毎月ポイントを集計し、事業所毎に評価しています。また、弊社でも、毎月のポイントを部署毎に評価しています。ポイントの低い部署には意識をあげてもらう為に、呼びかけや教育をしています。定期的に声掛けをすることで、意識を常に持ってもらえるようにしています。また、シフト者も参加しやすいよう、環境動画の視聴会をシフト者用に設け、参加してもらっています。

（取組の開始年・継続期間）

平成19年7月にエコアクション21を認証取得しました。その一環として平成25年より「環境ラリー」を取り組んでいます。

（取組を継続するための工夫・効果の持続性）

ポイントの取得が上位の者には、副賞を渡すことで、楽しく競い合えております。また、業務内容に沿った項目を入れることで、取り組みやすくしています。

（その他アピールしたい点）

目に付くところ数ヶ所にエコライフアイディア用紙置場やエコキャップ回収BOXを設置することで誰もが自主的に取り組めるような工夫をしています。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

エコアクション21の取組として、教育訓練を実施しています。全従業員対象と各部署で実施する教育訓練があり年間計画を立てて全部で29項目を実施しています。講師は従業員が行う仕組みをとっており、教える側は、どのようにしたら伝わりやすいかを工夫し勉強します。また、教えられる側は、同僚が教えてくれるので真剣に受けるようになります。そのように、教える側・教えられる側の双方の成長に繋がる仕組みをとっています。

また、エコアクション21の取組が評価され、様々な賞を受賞する事ができました。今後も従業員一同で活動に取り組んでいきたいと思います。

●教育の一例：環境社会検定（eco 検）、エコドライブ運転、ＥＡ２１新入社員教育

●受賞

平成21年 3月	第12回　環境コミュニケーション大賞	優秀賞	環境省
平成21年 7月	平成20年度　関西エコオフィス大賞	奨励賞	関西広域連合
平成25年 4月	平成24年度 関西エコオフィス大賞	奨励賞	関西広域連合
平成26年12月	おおさか交通エコチャレンジ賞表彰式	優秀賞	大阪府
平成27年 2月	第18回　環境コミュニケーション大賞	優秀賞	環境省
平成27年11月	平成27年度　エコドライブ活動コンクール	優良賞	交通エコロジーモビリティ財団
平成28年 2月	第19回　環境コミュニケーション大賞	環境大臣賞	環境省
平成28年 4月	2015環境ひとづくり大賞	奨励賞	環境省
平成28年11月	平成28年度　エコドライブ活動コンクール	優良活動認定証	交通エコロジーモビリティ財団
平成29年 2月	第20回　環境コミュニケーション大賞	優良賞	環境省
平成29年 3月	平成28年度　関西エコオフィス大賞	奨励賞	関西広域連合
平成29年 3月	2016環境ひとづくり大賞	奨励賞	環境省

取組の写真・図等

環境動画　視聴会

エコライフアイディア用紙置場

みどりの委員会

バリューカードの賞金授与

内部コミュニケーション

従業員教育

堺市環境局の出前講座
エコドライブ講習

■平成２９年度関西エコオフィス大賞

宣言オフィス名	堺ＬＮＧ株式会社	
ホームページＵＲＬ	http://www.sakai-lng.co.jp/04kengaku.html	
オフィスの概要	所在地	大阪府堺市西区築港新町三丁１番地 10
	業種・業務内容	ＬＮＧの受入・貯蔵・気化および送出
	従業員	５５名
主な取組項目	所内電子掲示板にて電気使用状況を掲示（見える化）し、所員へ節電状況を共有するとともに、様々な対策により管理事務所の電気使用量の削減に取り組んでいる。節電の他、紙の使用量の削減や節水、地域と連携した清掃活動等にも取り組んでいる。	

（取組の具体的内容）

● 節電の励行

平成 22 年８月からコストをかけずに全所員で管理事務所の電気使用量の削減に取り組んでいる。具体的な取組については、以下のとおり。

- ◆ 事務所執務室、廊下等の照明間引き
- ◆ 昼休み事務所執務室の照明消灯
- ◆ ウォシュレット、暖房便座の電源ＯＦＦ運用による待機電力の削減
- ◆ 適正冷暖房温度の設定（夏期室温２８℃設定、冬期室温２０℃設定）
- ◆ 夏期、冬期における事務所執務室温度チェックの実施
- ◆ 事務所執務室内窓ガラスに省エネフィルムの貼付

（取組を始めた契機・経緯）

平成 22 年８月、社員の省エネ意識の高揚および管理事務所の電気使用量等の削減を目的として、関西広域連合が主体となって活動している「関西エコオフィス宣言」に弊社も参加し、省エネ活動に取り組んでいる。

（効 果）

管理事務所電気使用量の基準年度対比

平成 22 年度 303,605ｋＷｈ 基準年度（関西エコオフィス宣言登録年度）

平成 28 年度 197,581ｋＷｈ 基準年度対比

基準年度対比削減量 106,024ｋＷｈ削減率 ３５％

（他事業所への波及の可能性）

本取組は、以下に示すとおり、どこの事業所でもコストをかけずに簡単に実施できる取組である。また、本取組を継続することで、従業員の省エネに対する意識が向上する。

＜主な取組＞

- ◆ 事務所執務室、廊下等の照明間引き
- ◆ 昼休み事務所執務室の照明消灯
- ◆ ウォシュレット、暖房便座の電源ＯＦＦ運用による待機電力の削減
- ◆ 適正冷暖房温度の設定（夏期室温２８℃設定、冬期室温２０℃設定）
- ◆ 夏期、冬期における事務所執務室温度チェックの実施
- ◆ 事務所執務室内窓ガラスに省エネフィルムの貼付

（取組において創意工夫した点）

照明の消灯忘れの多い箇所には、人目の付くところにコーションカードや注意喚起ステッカーを手作りで作成・貼付し、消灯・節電の意識付けを行っている。

（従業員への周知・啓発の方法）

- ・ 日々の管理事務所電気使用量については、前年同月対比等にて確認し、毎月全役職者が集まる会議で状況報告を行っている。
- ・ 節電に関する協力願いをコーションカードにして、トイレ、廊下、執務室等様々な箇所に貼付し、所員および関係会社・協力会社に周知している。
- ・ 電気使用量削減の「見える化」として、所内電子掲示板に電気使用状況を掲示し、従業員への情報共有を図っている。

（取組の開始年・継続期間 ）
平成 23 年～現在まで継続（ 7 年目）

（取組を継続するための工夫・効果の持続性）
電気使用量の削減活動を実施するだけではなく、電気の使用実態を把握管理し、会議で使用状況を報告するとともに電子掲示板を活用し、従業員へ使用量のフィードバックを行っている。

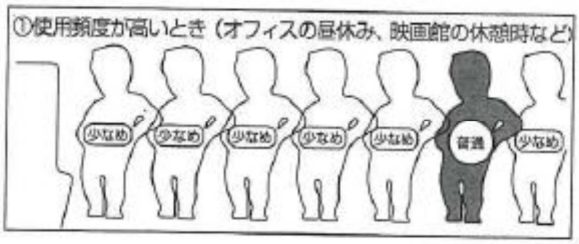
（その他アピールしたい点）
弊社では、節電に加え、環境負荷の低減を目的とした「両面コピーの徹底」、「会議でのプロジェクタの使用（配布資料の低減）」等にも取り組んでいる。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

○ 適正冷暖房温度の設定・夏冬エコスタイル
＜夏季＞
- 室温２８度設定
- 5 月～10 月をクールビズ期間として設定し、期間中の服装は軽装、扇風機の活用

＜冬季＞
- 室温２０度設定
- 冬季期間中、各人にて防寒対策（フリース等の着衣）実施

○ 節水の励行
- 自動洗浄小便器については、節水型の小便器を事務所設置時から導入している。
→使用頻度を小便器の未使用時間で判断し、最適な洗浄パターンで吐水



→小便器の使用時間から小便量を測定し、小便量の多少にあわせて最適吐水

○ 省エネ・新設備機器等の導入
- 誘導灯不良時ＬＥＤタイプに変更

○ グリーン購入の推進
- 再利用コピー紙の購入

○ エコドライブの励行
- 燃費が良いハイブリッド車を優先利用するよう周知

○ 自動車利用の抑制
- 近隣箇所への移動時、時間調整等による自動車の乗り合い
- エコ通勤（公共交機関・契約バスでの通勤）

○ ごみの再資源化
- 新聞紙、雑誌、ダンボール等の再資源化
- 両面印刷、片面使用済み用紙の裏面利用の励行
- 電子メールの活用、会議でのプロジェクタ使用によるペーパーレス化

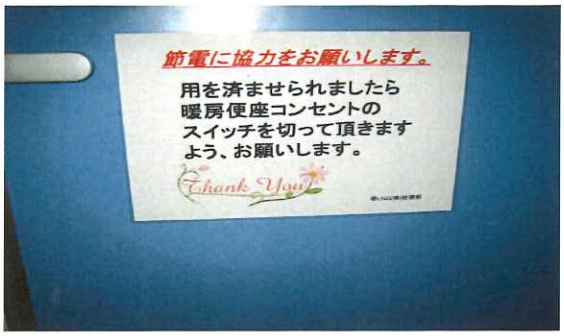
○ その他
- 6 月を環境月間と指定し、事業所周辺の清掃活動を実施
- 地域と連携した清掃活動の参加

取組の写真・図等

（事務所執務室照明間引き状況）

（昼休み事務所執務室照明消灯状況）

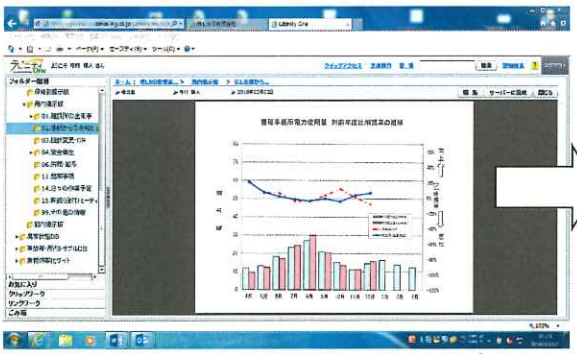
（昼休み消灯ステッカーの貼付点灯エリア区分）



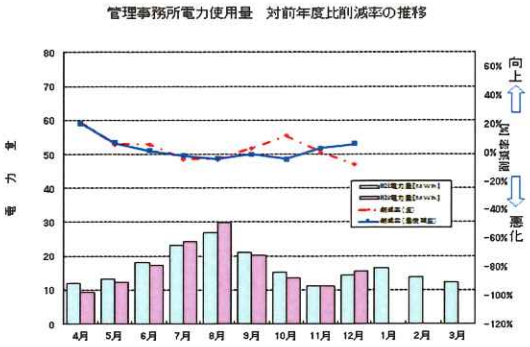
（節電コーションカード）

（節電コーションカード）

（省エネコーションカード）

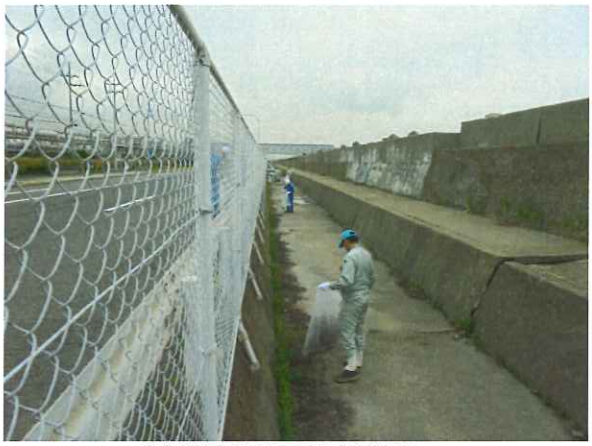


（電子掲示板を活用した「見える化」）



（管理事務所使用電力量　資料抜粋）

（事業所周辺清掃活動）



（事業所周辺清掃活動）

（夏：地域と連携した清掃活動）

（冬：地域と連携した清掃活動）

■平成２９年度関西エコオフィス大賞

宣言オフィス名	田辺三菱製薬株式会社　本社	
ホームページＵＲＬ	https://www.mt-pharma.co.jp/	
オフィスの概要	所　在　地	大阪府大阪市中央区道修町 3-2-10
	業種・業務内容	医療用医薬品を中心とする医薬品の製造・販売
	従　業　員	７２２名
主な取組項目	先進的省エネ設備の導入や地表面および屋上の緑化により、CO_2排出量の削減を実現した点が評価された。また植樹活動の実施など地球温暖化防止に寄与するＣＳＲ活動にも積極的に取り組んでいる。	

（取組の具体的内容）

2015 年２月に竣工した新本社ビルは、省エネ・地球温暖化防止に貢献できる設計としており、「CASBEE（建築環境総合性能評価システム）新築」でＡランクの評価を得ている。

- ◆ 執務室内の湿度を効率よく調節するため、外気の取り込みにデシカント空調方式を採用した潜熱分離空調を採用するとともに、コンパクトダブルスキンの採用により、夏季、冬季の遮熱性を確保する等、省エネを図りながら快適な執務空間を実現している。
- ◆ マイクロコージェネレーションシステムを導入し、発電排熱の熱源への有効利用と夏季のデマンド抑制と停電時電源の確保に役立てている。
- ◆ 空調熱源は電気式、ガス式のヒートポンプチラーを併用、エネルギー情勢の変化に応じて両者の比率を調整可能としている。給湯熱源はハイブリッド方式を導入。ベースの負荷にヒートポンプ給湯器を用い、高負荷時にガスマルチヒーターを使用し省エネで効率的な給湯の実現を図っている。
- ◆ ＢＥＭＳを導入し、エネルギー消費傾向や省エネシステム効果の把握に努めている。

（取組を始めた契機・経緯）

新たな本社ビルを建設するに当たり、くすりのまち道修町を拠点に成長・発展してきた製薬会社の本社として、積極的にまちづくりに取り組み、地域との共生を図るとともに、ビル内執務室の快適性の向上と地球環境への配慮を両立させるため、省エネルギーや節水など環境負荷の低減を促す先進的な設備を導入した。

（効　果）

新本社ビルは 2015 年度から本格的に営業を実施した。2014 年度まではテナントビルおよび近辺の自社ビルの二か所に分散して入居し営業を行っていた。

2016 年度における電力使用量および電力使用に伴う CO_2 排出量を、新本社ビル竣工前の 2014 年度実績と比べると、2 ビルを統合したことおよび新本社ビルを環境配慮設計とし省エネを推進したことにより、「電力使用量：27%削減、CO_2 排出量：29%削減」の大幅な削減効果が得られている。

・2014 年度　　電力使用量：2,117 MWh、CO_2 排出量：1,105 t-CO_2
・2016 年度　　電力使用量：1,547 MWh、CO_2 排出量：　788 t-CO_2

（他事業所への波及の可能性）

新本社ビルの竣工以降、研究所の３拠点から 2 拠点への統廃合、営業所の統廃合を実施しており、業務効率化等のための統廃合に付随して環境への負荷量の削減を図ることができている。

（取組において創意工夫した点）

新社屋建設に当たっては、“Heart & Head Quarters”（心と知の本社）をコンセプトに、社会やコミュニティとの共生、社員がクリエイティブに働ける場づくりといったテーマをしっかりと建物に落としこむこととし、社内メンバー・コンストラクションマネジャー・ゼネコン等が連携して進めた。

その過程において、快適と環境負荷低減の両立に向け、先進的な設備の導入も取り入れた設計とした。

（従業員への周知・啓発の方法）

全従業員に対しては、竣工時には環境に配慮したビルであることを周知し、竣工・営業活動開始後は夏季および冬季の社内省エネキャンペーン等を通じて省エネ活動の維持・推進の啓発を行っている。

（取組の開始年・継続期間）

2015 年４月から新本社ビルで各部署が業務を開始して以降、総務部門とビル管理会社が連携し、省エネ設備を効率的に運用するとともに、在籍する従業員が一体となり、省エネ活動に継続して取り組んでいる。

（取組を継続するための工夫・効果の持続性）

総務部門と省エネ設備の運転等を委託しているビル管理会社との良好なコミュニケーションを図るとともに、当該総務部門と環境統括部門との連携を密にして対策や成果の確認を行っている。

（その他アピールしたい点）

◆緑化によるヒートアイランド対策とランドスケープの創出

・地表面及び屋上に中高木の植栽等で緑化を行い、周辺地域の温熱環境の悪化防止を図ることによりヒートアイランド対策を講じている。又、地域気象データをもとに熱及び風環境シミュレーションを行い、周辺地域の熱及び風環境による影響の少ない建物としている。

・大阪の歴史的都心である道修町に立地しており、道路側に沿った大規模な公開空地や薬草を型押ししたタイルで仕上げた植栽枡などを設けて、付近の街並みにしっくりとくる景観を創出しており、「大阪ランドスケープ賞 2015（第５回みどりのまちづくり賞）」の奨励賞を受賞している。

◆「平成 28 年度 おおさかストップ温暖化賞　優秀賞」受賞

・先進的な省エネ設備の導入等による温暖化防止、および緑化によるヒートアイランド対策の実施が評価され、本社はじめ大阪府にある事業所での温暖化防止への取組が評価され、「平成 28 年度おおさかストップ温暖化賞　優秀賞」を受賞した。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

○ 適正冷暖房温度の設定・夏冬エコスタイル

・ エネルギー消費量が増加する夏季および冬季では、適切な空調温度の管理徹底、不要照明の消灯、クールビズ・ウォームビズ推奨などの省エネキャンペーンを全グループで展開している。
キャンペーンの際は事業所が主体性を持って省エネ活動に取り組めるよう、オリジナルポスターを配布した効果もあり、クールビズ・ウォームビズは各事業所に定着している。

・ 当社グループ各事業所では TPO に合わせた服装が定着、2014 年度からネクタイ着用の勤務は通年任意とし、キャンペーンに取り組み易い環境づくりを展開している。

○ 節電の励行

・ 建屋内に設置している自動販売機の消灯、各人使用パソコンの節電モード設定、照明設備では主要部分に LED 照明を採用、自然光を採り入れる大きな窓を採用、共用部には人感センサーを設置、執務室には昼光センサーを設置して電力消費量を低減している。

○ 節水の励行

・ 屋上雨水を地下ピット水槽で貯留し、ろ過処理後トイレの洗浄水として活用している。
・ トイレ手洗い水洗の自動化・シャワー化を導入している。

○ グリーン購入の推進

・ 認定リサイクル製品の購入、営業用車両へのハイブリッド車台数の適正化を促進している。

○ 緑化の推進

・ 屋上および公開空地の緑化を維持管理することで、ヒートアイランド対策に寄与し、付近の街並みとの景観の調和を図っている。

○ エコドライブの励行

・ アイドリングストップなどエコドライブを励行し、定期点検を実施している。

○ 自動車利用の抑制

・ 全従業員がマイカーやバイクを使用せず公共交通機関を使用するエコ通勤を維持している。

○ ごみの再資源化

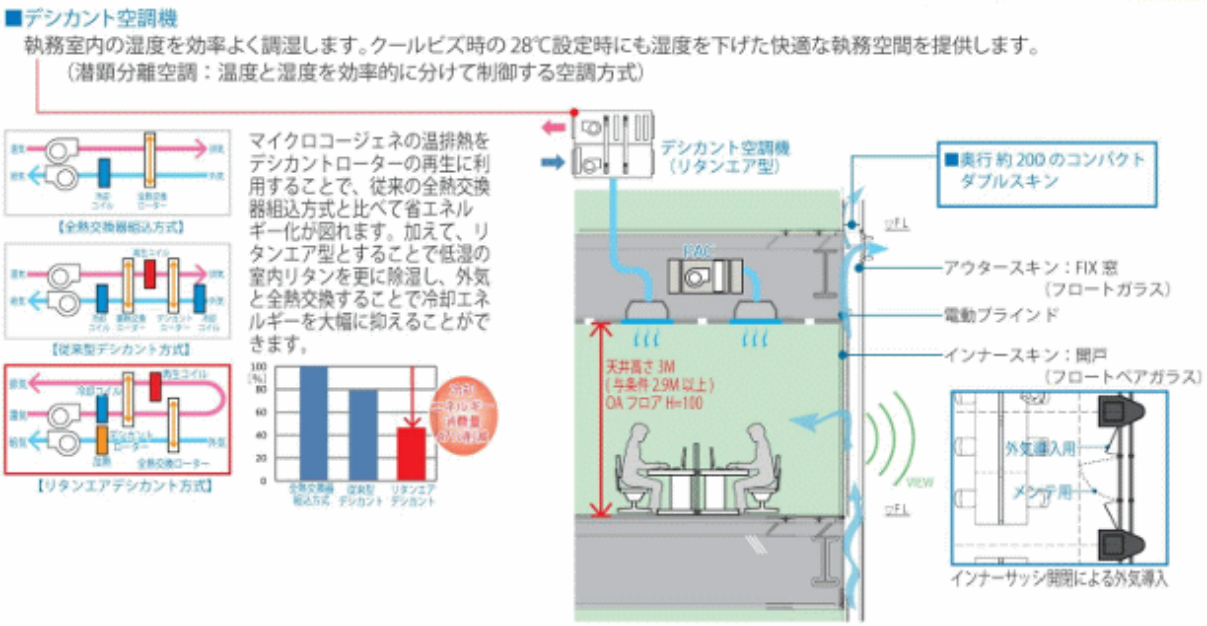
・ ごみ分別を徹底している。

○ **ＣＳＲ活動等独自の取組**

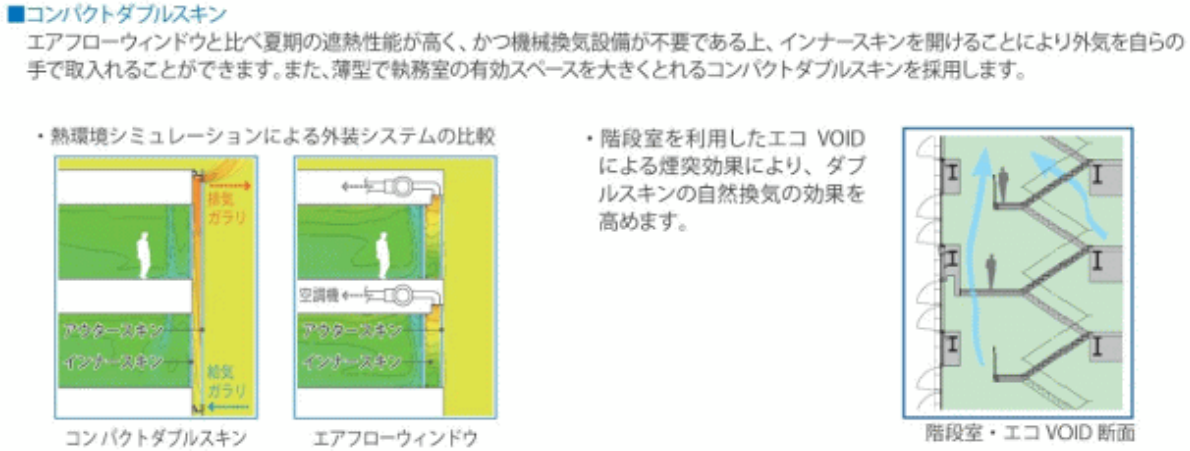
- 植樹活動の実施：生駒山系花屏風活動（大阪府主催）に参加、植樹活動を毎年 11 月に実施
- 事業所周辺の美化：「大阪マラソン“クリーンＵＰ”作戦」（大阪市）での一斉清掃活動において本社および加島事業所周辺で毎年 10 月（2017 年は 11 月）に清掃活動を実施
- 地域の環境浄化活動：「橋洗いブラッシュアップ大作戦」（大阪市）に参加、毎年 10 月に難波橋の清掃活動を実施

取組の写真・図等

◆デシカント空調



◆コンパクトダブルスキン



◆マイクロコージェネレーション
（本社屋上に４台設置）

◆自然光を取り入れた吹き抜け空間

◆省エネキャンペーンのポスター

◆緑化された屋上、および公開空地の植栽枡

◆生駒花屏風活動（2017 年 11 月；柏原市）

◆大阪マラソン”クリーン UP 大作戦“（2017 年 11 月；本社周辺）

◆橋洗いブラッシュアップ大作戦（2016 年 10 月；大阪市中央区難波橋）

■平成２９年度関西エコオフィス大賞

宣言オフィス名	日本水産株式会社　姫路総合工場	
ホームページＵＲＬ	http://www.nissui.co.jp/	
オフィスの概要	所　在　地	兵庫県姫路市白浜町宇佐崎南 1-71
	業種・業務内容	食品製造業
	従　業　員	489 名
主な取組項目	従業員参加型のエコ推進活動の企画立案を行う「エコ推進委員会」により、エコ推進活動を社内で実施している。また、社内外に活動を紹介し、社会全体の環境意識の向上に努めている。	

（取組の具体的内容）

１．エコ推進委員を中心としたエコ推進活動の実施。
　姫路総合工場内だけでなく来場されるお客様にも姫路総合工場のエコ推進活動を紹介し、社会全体の環境意識の向上に努めている。
２．エコ推進委員会の取組例
　１）エコササイズ（エレベーターを使用しないで階段利用を促進する活動）
　２）エコアート（従業員を対象としてアート、ポスターを募集）
　３）カレンダー、ポストカード製作・配付（エコアート作品を使用した手作り品）
　４）クロスワードパズル、ゼロエミクイズ作成
　５）エコキャップアート製作（従業員による作成）
　６）エコ川柳（従業員を対象としてエコに関わる川柳を募集）
　７）体験型エコ活動（従業員とその家族を対象として布草履教室､紙すき教室､うちわ教室を開催）
　８）エコ推進活動オリジナルシンボルマーク製作（従業員を対象として募集し製作）
　９）ごみ再資源化活動（エコキャップ回収活動＜従業員による収集＞、古Ｔシャツリサイクル活動＜従業員から提供＞、製品廃棄処理工程確認及び分別意識向上の為の活動）
　１０）クリーンアップ作戦、みどりの美化キャンペーン（従業員によるボランティア活動）
　１１）表彰式他

（取組を始めた契機・経緯）

　環境への取組は将来に渡り継続的に行うことが必要であり、その為に私達が出来ることとして、姫路総合工場で働く全従業員が高い環境意識を持って活動に取り組むことが必要不可欠であるという考えに至った。環境意識向上に向けた積極的な働きかけを行う為のツールとして、2009 年 4 月に従業員参加型のエコ推進活動の企画立案を行う「エコ推進委員会」を発足し同時に「エコ推進委員」を選出した。エコ推進委員は当時幹部を除き ISO 事務局主体の 10 名で構成されていたが、2010 年 4 月に見直しを行い各部門から選出された４名で再編成し、現在に至るまで活発な活動を継続して実施している。

（効　果）

１．冬の階段利用促進活動（エコササイズ）、夏のエコ川柳、秋のエコアートといった定例化したイベントを年間通じて行うことで、エコ推進活動に参加し易い風土ができている。
２．従業員がエコに関する活動を日々目にすることができるように、出退勤時に必ず利用する場所にエコ推進委員会活動内容を集約して掲示しており、環境活動をより身近に感じることができる。
３．自分達の取組による環境への負荷軽減やそのメリットについての理解を深めることができ、将来的にも自らの行動を認識しながら活動ができることにつながる。
４．イベントに参画することで、エコ推進活動を特別なものと捉えず環境のことを意識できる風土作りにつながっている。
５．従業員だけでなく、利害関係者も巻き込んだ形での環境意識向上につなげることができる。

（他事業所への波及の可能性）

１．どういったところが他事業所でも容易に取り組める内容なのか
　エコササイズを例に挙げると、階段はどこにでもあるので階段利用促進活動は簡単に取り込むことが出来る内容である。
２．他事業所等へ広める為の活動
　１）日本水産株式会社の社内電子掲示板に姫路総合工場のエコ推進活動を掲載している。
　２）エコアート活動に応募された作品を利用したポストカードを作成し配付している。2017 年度の活動

として卓上カレンダー製作と配付を行う。
３）エコアート活動の中の受賞作品の選考を、必要に応じてお客様・取引先・本社等の利害関係者も参加できるようにしている。
４）工場見学のお客様へのプレゼンテーション時には、エコ推進活動についての紹介も行っている。2017 年度は 12 月上旬で 33 団体 371 名に紹介した。
５）他事業所からエコ推進活動についての問い合わせがあれば、姫路総合工場に招いてプレゼンテーションを行っている。本社以外には 2015 年度にグループ会社から 1 団体 8 名招いた。
６）日本水産株式会社全体の取組として実施している工場近隣や姫路城周辺の清掃活動以外に、姫路市主催の「みどりの美化キャンペーン」にも毎年参加している。

（取組において創意工夫した点）

１．姫路総合工場の従業員を対象に、楽しみながら参加できてエコ推進にも繋がる活動を実施した。
１）エコササイズとは、「エコ」と「エクササイズ」を合わせエコ推進委員が作った造語である。階段を利用したら参加者全員が記録用紙に週毎に変更するスタンプを押すことで、達成までの進捗を競い合いながら確認することができる仕組みを整えた。また、スタンプが目標数まで達すると自社製品のグルコサミンを提供する環境にも身体にも優しい活動である。参加者は、2012 年度 253 名、以降 244 名、244 名、246 名、221 名と推移している。2017 年度は 1 月から実施するが、毎年全従業員の約半数が参加するエコ推進活動最大の活動である。
２）エコキャップアートは、キャップをはめ込む為の土台を従業員が必ず通る通路に設置することで、誰もが気軽に参加できる状態を作りつつ、協力して一つの作品が出来上がる過程を目にすることで達成感を得ることができるようにした。
３）エコ川柳を募集し、社内での優秀作品の選考とは別途、姫路市主催の「全日本エコ川柳大賞」に 2013 年度よりのべ 471 句応募し、2016 年度はその中から入賞した。
４）エコ川柳、エコアート、シンボルマークの優秀作品の作者に対しては表彰式を行い、表彰状と賞品を授与した。受賞作品は、工場内に掲示すると共に多方面で活用している。
５）エコ推進活動の参加者にはエコ参加ポイントを付与し、一定数以上のポイントが貯まった方にはポイント賞を提供している。2016 年度はエコ推進活動 7 項目の内 3 項目でポイント達成として達成者 63 名、2017 年度は 10 項目の内 5 項目で達成とし達成者は 39 名だった。

（従業員への周知・啓発の方法）

１．年度初めに策定した年間計画を始めとしたエコ推進活動の全情報は、従業員が日々必ず利用するエレベーターホールに設置した掲示板に掲示するとともに、内容をこまめに更新している。
２．エコ推進活動の一部は、季節に応じて定例行事化している。
３．優秀作品を総合朝礼で表彰することで、参加することにやりがいを感じられるようにしている。
４．エコ推進活動のイベントは、総合朝礼で案内するとともに進捗と結果を報告することで、従業員に事業所全体としての取組であることを理解してもらっている。

（取組の開始年・継続期間）

2009 年 4 月に「エコ推進委員」を選出し、現在まで約 8 年半継続して活動を行っている。

（取組を継続するための工夫・効果の持続性）

１．マンネリ化防止の為毎年目新しい企画立案を行い、参加者の興味を引く活動を心掛けている（2010 年度エコクイズ、2011 年度エコササイズ、2012 年度クロスワードパズル、2013 年度エコポスター、2014 年度古 T シャツをリサイクル、ゼロエミクイズ、2015 年度布草履教室、エコキャップアート、エコアート、2016 年度紙すき教室、ポイント賞、2017 年度シンボルマーク、カレンダープロジェクト、うちわ教室）
２．2009 年度のエコ推進委員会発足当初は不定期に開催していた委員会を、2010 年度より毎月実施し 2017 年 12 月時点で 82 回開催した。エコ推進委員会では、進捗や結果の確認と次月以降の活動内容の確認を行っている。
３．エコ推進活動への参加意欲と参加率の向上の為、「活動内容に応じた応募者への賞品提供」、「応募作品の展示及び応募作品を活用した新たな活動」により長期に渡る応募作品の活用を心掛けている。

（その他アピールしたい点）

姫路総合工場発信で日本水産株式会社全体を巻き込んだエコ推進活動を行う事により、社会に対するＣＳＲ活動につながるように努めている。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

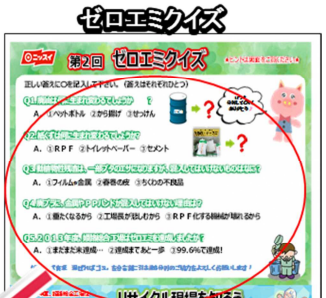
１．適正冷暖房温度の設定・夏冬エコスタイル
　季節に応じたエアコンの設定温度管理と月別の稼動管理（季節の変わり目の稼動は「切」か「入」で、同フロアで冷房と暖房を混在させない）、エアコンの集中制御による「温度と稼動時間帯」の管理。
２．節電の励行
　電灯の切り忘れ防止の為の人感センサーの取り付け、建物の屋根の遮熱塗装、蛍光灯の LED 化。
３．節水の励行
　高圧洗浄機の節水バルブ設置、手洗場とトイレの光電管センサー設置、毎日のメーター値確認。
４．省エネ・新エネ設備機器等の導入
　太陽光発電の導入、省エネタイプの高効率エアコンの導入。
５．グリーン購入
　ＦＳＣ認証のコピー用紙、エコマーク認定のトイレットペーパー、環境対応の文房具の購入。
６．ごみの再資源化
　ごみの細分化、食堂の固形燃料化ごみの洗浄、自販機業者によるごみ回収、ごみ再資源化について産業廃棄物処理業者への協力依頼、廃棄物量の削減取組及びゼロエミッション達成の継続。

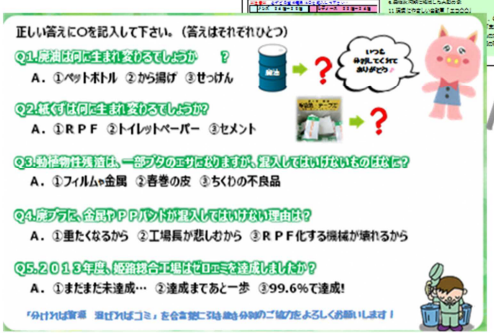
取組の写真・図等

1．エコササイズ（2011 年度～継続　参加者のべ 1,482 名）

2．エコアート（ポスター2013 年度～継続　参加者のべ 49 名、アート 2015 年度～継続　参加者 42 名）

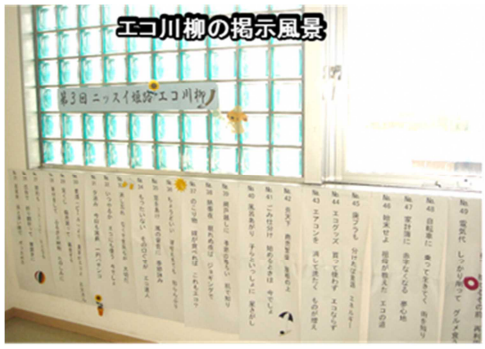
3．カレンダー、ポストカード製作（2017 年度実施）　4．ｸﾛｽﾜｰﾄﾞﾊﾟｽﾞﾙ（2012 年度実施　参加者 197 名）、ｾﾞﾛｴﾐｸｲｽﾞ（2010 年度、2013 年度、2014 年度実施　参加者のべ 681 名）

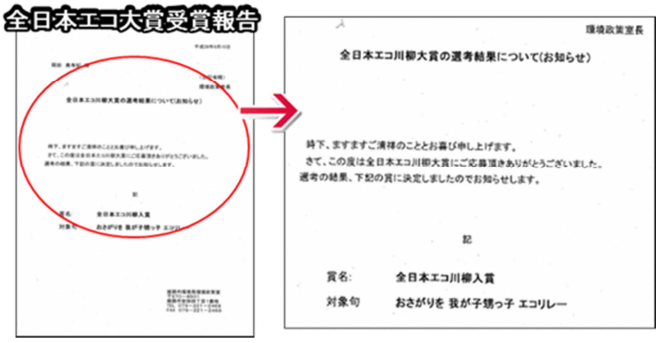




５．エコキャップアート製作（2015 年度実施　参加者 246 名）

６．エコ川柳（2012 年度～継続　参加者のべ 649 名）、全日本エコ大賞応募（2013 年度～継続　参加者のべ 471 名）





７．体験型エコ活動（従業員とその家族を対象としたニッスイ夏祭りのイベントとしての活動）

①布草履教室（2015 年 8 月 1 日　参加者：31 名）

②紙すき教室（2016 年 8 月 6 日　参加者：23 名）

③うちわ教室（2017 年 8 月 5 日　参加者：38 名）

８．エコ推進活動オリジナルシンボルマーク（2017 年度実施　27 名 48 作品より投票により選考）

シンボルマークは、エコ推進活動で製作した
カレンダーやポストカードの他に
エコ推進活動の掲示物にも使用している。

９．ごみ再資源化活動

①エコキャップ回収活動（2010 年度～継続）②古Ｔシャツリサイクル活動（東日本大震災支援活動の一環として 2014 年度実施　古Ｔシャツを被災地の女川の復興団体に送り、同団体のリサイクル製品の購入を実施）

③製品廃棄処理工程確認及び分別意識向上の為の活動（2012 年度、2014 年度、2016 年度実施）
※環境目標進捗報告は 2010 年度より継続

１０.クリーンアップ作戦（2012 年度～「2 回/年」継続　参加者のべ 358 名）、みどりの美化キャンペーン（2013 年度～スポット参加　参加者のべ 29 名）

１１．表彰式他

■平成２９年度関西エコオフィス大賞

宣言オフィス名	株式会社横山サポートテック	
ホームページＵＲＬ	http://www.yst21.co.jp/	
オフィスの概要	所　在　地	兵庫県赤穂市中広１３７０－１
	業種・業務内容	廃棄物処理業・一般廃棄物処理業・資源リサイクル業・土木工事業・人材派遣業
	従　業　員	４０名
主な取組項目	グリーンカーテンを設置し、遮熱効果により温度の上昇を防ぎ、エアコンの電力量削減に取り組んでいる。また、自社で発芽させた苗を近隣幼稚園等に配布するなど、地域と連携して緑化活動を実施している。	

（取組の具体的内容）

【緑化を推進し構内環境美化を図り、地域と連携した美化・緑化活動を実施する。】

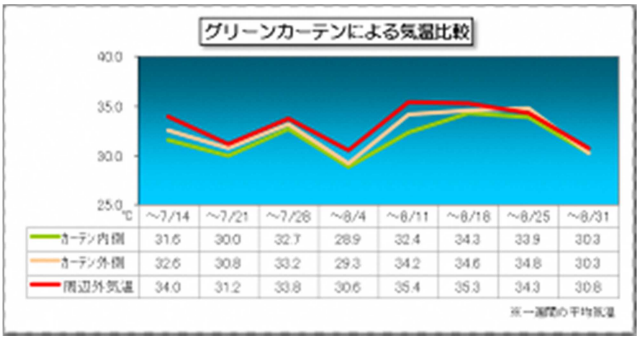
- 季節に応じて、花壇の整備や、玄関等の花々の植え替えを行っています。
- 花壇で栽培した花の種を近隣幼稚園の園児に配布しています。
- 夏には、グリーンカーテンを設置し、事務所のエアコン温度を適正設定温度に保っています。
- グリーンカーテンから採取した種を自社で発芽させ、近隣地域の保育所や取引先企業様へ配布し地域の緑化を推進しています。
- 近隣幼稚園の園児のみなさんと一緒にグリーンカーテンの苗を植え、緑化に対する意識を高める活動を行っています。

（取組を始めた契機・経緯）

- ISO14001 の活動で緑化の推進を掲げ活動を開始しました。当初は、花壇への植栽からはじめましたが、事務所の電力量削減の取組を行う中、特に夏場には西日が強くあたり室温が上昇することから夏の適正冷房設定温度を維持できない為、遮熱効果が高いグリーンカーテンの設置を開始しました。

（効　果）

- 季節に応じた花を花壇に植えたり玄関先の壁にハンギングすることにより、当社の前を通行する方々や来社されるお客様に四季折々の花を楽しんでもらっております。
- グリーンカーテンの設置後は強い日差しを遮り、温度の上昇を防ぎ、エアコンの電力量も前年度より削減されており、CO_2の排出を抑制できております。



エアコン電力の削減

期間	当年	前年	削減
7月	599	671	-72
8月	444	556	-112
9月	182	303	-121

(kwh)

- グリーンカーテンの周囲で温度計測を行ったところ、カーテンの内側はもちろんのこと、表面においても気温が低くなっており、緑化を推進することで、温暖化の抑制にもつながっております。

（他事業所への波及の可能性）

- グリーンカーテンにおいては、８年前から取組を継続していますが、社内活動のみにとどまらず、地域の皆様にもグリーンカーテンの良さを知って頂こうと自社で発芽させたゴーヤの苗を配布する取組を行いました。これにより配布先での栽培を促したり、また近隣幼稚園の園児のみなさんと一緒にグリーンカーテンの植え付け作業を行う取組も行っています。
- グリーンカーテンは、苗・土・プランター・ネットを用意するだけで手軽に栽培ができます。
- 種を採取して苗を作れば翌年からは苗の購入が無くなり、プランターやネットも再利用できるので、土のみ用意すれば、低コストでの栽培も可能になります。散水用の水も雨水を利用することにより、更にコストを抑えることができます。

・ 水やりは、当番を決めて順番に行えば、個人の負担も軽減されます。

（取組において創意工夫した点）
・ 花壇や玄関等においては、毎年咲く花(宿根草)を植え、また季節ごとに咲く花を植え替えております。
・ グリーンカーテンにおいては、設置当初はプランター４個からスタートしましたが、今ではプランターの数も２２個となりました。事務所だけにとどまらず、作業員の休憩場所にもグリーンカーテンの範囲を拡大することにより、遮熱効果も倍増しています。栽培する植物に関しても、花の咲くつる性の植物やメロンなどの果物、カボチャなどの野菜等を植え、見ても楽しく華やかになるようにしています。
・ 緑化活動で地域に貢献できないかと考え、当社で採取した種から苗を作り、地域の皆様に配布する取組を今年度からスタートさせました。
・ 水やりは、雨水を出来る限り使用し、散水できる仕組みを取り入れました。倉庫の雨どいからタンクに水を溜め、高低差を使ってホースで水やりをしています。ホースは穴のあいたものをプランターにはわせているので、雨水タンクの蛇口を開くだけで散水ができて水やりにかかる時間を短縮できるようになりました。

（従業員への周知・啓発の方法）
・ 社内では、夏になれば“グリーンカーテン”が浸透しており、社員からは夏になるとグリーンカーテンの設置要望があります。
・ グリーンカーテン設置後は当番を決めて水やりを行っております。また、定期的な摘心や追肥等を行って生育に努めています。
・ 採取したゴーヤは、社員が持ち帰り家庭の食卓へ並べています。

（取組の開始年・継続期間）
・ 花壇等の整備：H21 年　～　H29 年　９年
・ グリーンカーテン：H22 年　～　H29 年　８年

（取組を継続するための工夫・効果の持続性）
・ 管理課で環境マネジメント実施計画書の作成を行い、年間を通して緑化活動を行っています。
・ 毎月の進捗を、ＥＭＳ委員会で報告する事で社員との情報共有を行っています。
・ 計画にそって、花壇の手入れに取り組み、季節に応じた花を栽培しています。
・ グリーンカーテンの栽培時には、福利厚生の一環として果物や野菜を収穫し配布することにより、育てて収穫する喜びを取り入れています。
・ 社員の栽培意欲が上がるように毎年、緑のカーテンコンテストに応募しています。賞を頂くことにより、次年度の更なる上の賞獲得のため士気を高めて取り組んでいます。

（その他アピールしたい点）
・ 緑化活動や美化活動等を知っていただくため、ホームページで発信、紹介しております。
・ 今年度、弊社でのグリーンカーテン活動を知って頂くとともに、日頃の感謝の意を込めて、グリーンカーテンの花を押し花にし、お客様へプレゼントをさせて頂きました。
・ 毎月のミーティングの際に、もちよったアイデアを随時検討し、年間の計画にプラスして実行しております。また、いろいろな活動を振り返り、反省し、次年度への活動につなげられるよう取り組んでいます。
・ グリーンカーテンにおいては今後、苗の配布先を拡大し、緑化を推進する事により温暖化の抑制につなげていきたいと思っております。
・ 休憩時のお茶代を兵庫県緑化推進協会の『緑の募金』に寄付しています。

（適正冷暖房温度の設定）
・ 夏場はグリーンカーテンを毎年設置し、無駄な温度変更を行わず適正な温度で管理が出来ています。

（節電の励行）
・ デマンド監視システムにより、構内機器の節電に努めています。
・ 未使用部屋のエアコン停止及び消灯を行っています。
・ グリーンカーテンやすだれ等で夏の日差しをさえぎり室内温度の上昇を防いでいます。

（節水の励行）
・雨水の利用

工場敷地内の清掃及び消火栓は全て雨水を利用しています。
また、緑化活動時の散水等も雨水を利用しています。

（省エネ・新エネ設備機器等の導入）
- H25 年 5 月、太陽光発電設備の導入（発電量：平均３，８３９kwh／月）
- H26 年 1 月、工場内及び事務所内はＬＥＤ照明を導入（8%の電力量削減達成）
- H26 年 1 月、デマンド監視システムの導入（10%のデマンド値削減達成）

（グリーン購入の推進）
- 文房具等はエコマーク製品やグリーン購入対応商品を優先的に購入しています。
- 作業服は全てエコマーク製品を購入しています。

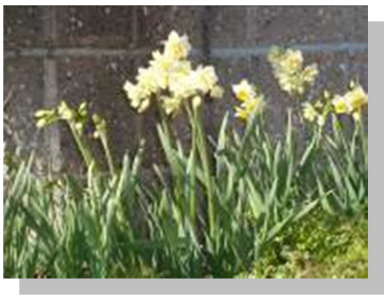
（エコドライブの励行）
- アイドリングストップの推進
  車輌の停車時は原則、アイドリングストップとしています。
- デジタルタコグラフの導入
  運行管理者（取得者 4 名）がデータを分析し指導する事で燃費向上を図り、環境にやさしいドライビングテクニックを習得させています。

（ごみの再資源化）
- ごみの分別を徹底しています。
- エコキャップ推進協会の協力業者として、H21 年からエコキャップの受け取りをしています。受け取ったエコキャップは再資源化するべく出荷を行っています。

（ＣＳＲ活動等）
- H11 年に ISO14001 を取得
- 毎月１回クリーンキャンペーンと称して、会社周辺のゴミ拾いを行っています。
  また、地域で開催されている美化活動に参加をしております。
- H23 年 12 月から環境社会検定（eco 検定）受験を支援しています。現在 9 名の合格者はエコピープルとなりエコユニット(横サポエコ推進委員会)を結成し、様々な環境活動を行っています。

取組の写真・図等

■最もアピールしたい取組
◎花壇の様子
【春】 【夏】 【冬】



◎玄関先の壁にプランターを
ハンギングしている様子

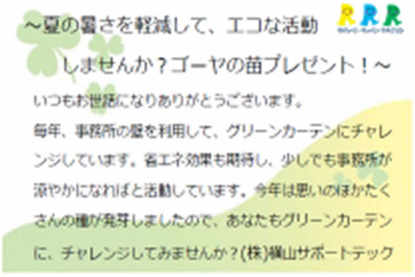
花壇で栽培した向日葵の種
を配布しました

ひまわりのたね
○○○○幼稚園の皆さまへ
昨年、横山サポートテックで採れた
ひまわりのたねです。
園の皆さまもよろしければ育てて
下さい。
平成○○年○月
(株)横山サポートテック
管理部

◎グリーンカーテン

・雨水タンク

・弊社にて採取した種を発芽させて、
配布しグリーンカーテンの栽培を勧めました。



・配布先の保育所でのグリーンカーテン

・配布先の商店様のグリーンカーテン

◎近隣幼稚園の園児の皆さんと一緒にグリーンカーテンの苗を植える活動

◎グリーンカーテン(ゴーヤ)の花を押し花に…

■最もアピールしたい取組以外

◎デマンド監視システム

◎クリーンキャンペーン

◎太陽光発電